

金子 新選組と商業振興
ということでもちおこし
のテーマになっています
が、どのような目論見を
考えているのかお聞かせ
ください。

山崎 新選組まちおこし
実行委員会としても、出
来るだけいろいろな事業
所に参加してもらい「ま
ちおこし」に繋がればと
考えていることは事実で
す。しかし、昨年から今
年にかけてまちおこしの
ための色々なイベント費
用が3億円から3億5千

ら会費減額要請やら退会問題なども出てきていました。商工会としてこれらに問題にどのように対処していくべきか何かお考えはありますか。

会報も昨年度から全
カラーレーベル化したことともい
う。この点は、アーティストの個性を
尊重する立場から、このままでは不
可能だと思ふ。

2 / 1

牧野 いま、情報化時代
真っ只中だと思います。
商工会のホームページなども有効活用がはかれる
のではないかと思います。
青年部の人たちの中には
パソコンに精通した人も
何人もいますし彼等のノ
ウハウを活用することも

牧野高明 もノもはするな。れ

では、商工会活動を広く
商工業者の方々や市民の
方に分りやすく、また親
しみを持つて読んでいた
だける会報をと色々工夫
を凝らしていますが、情
報を正確に伝える、また
関心を持って読んでいた
だくことの難しさを痛感
しています。

商工会の改革へ向けて

2004 新春座談会

出席者 調布市商工会長 萩本 貞臣 広報委員長 大総 隆一
(敬称略) 広報委員 牧野 高明 広報委員 岸 秀治
広報委員 金子日出澄 事務局長 山崎 宮治

成などもこれから益々重要になつてきています。また、長引く景気低迷によつて国や地方自治体の税収の落込みにも原因があります。構造改革、行政改革によつて補助金行政が見直されてきています。商工会活動における補助金の割合も年々削減され、組織や財政、人事管理等についても見直しが迫られています。

要は、都連合会に集約することで効率化を図れるものは集約していくこと、ということだと思います。大統領ところで、このように都連合会での改革と相まって、わが調布では現在どのような改革への取り組みをされていますか。会長当商工会でも、財政分析や事業活動のあり方について検討しています。特に、ここ5年間くらいの財政状況をみると、会費収入や手数料収入の落込みに加え、東京都の補助金カットなどもあって、財政状況は悪化しています。何とか財政の安定化を図りたいということで、事業費の抑制経費の削減などを進めていますが、追いつかない状況です。

たまたま、平成十五年4月から委託事務として勤労者互助会をお受けすることになり委託手数料の一部が本会計予算に組み入れられたので收支は多少改善されました。また、正職員の退職もあつ

岸 商工会でいま組織改革ということで、今までの2部会制から商業・工業そして建設業の3部会にすること、そして市内を8ブロックに分け支部組織をこの4月から立ち上げるということになります。

会長 支部組織を立ち上げるということについてですが、この辺の意味合いを説明してもらいたいと思います。

つていますが、この辺の意味合いを説明してもらいたいと思います。

広報委員
有特殊バネ研究所
岸秀治

には商工会の存在を身に感じてもらい商工会を利用してもらえばとうことです。

また、業種別部会として今までの2部会制から建設業部会を立ち上げ3部会制にすることがります。現在、工業部会の中に建設関連業も含まれていますが、この建設関係の業種だけでも400社以上あり前々から独立した部会設置が望されていました。

業種にとらわれない支部活動や業種毎の部会活動の組み合わせにより会員さんの利用機会を増やしていくれば商工会活動の活性化に繋がると思っています。

情報提供とイメージチェンジ

大総 商工会をイメージした場合、一般的にみてどうしても役所的になつている感じがします。文章ひとつをとっても、また、パンフレットにしても硬い感じがして、ここに金融機関のパンフレットがありますが、平易な言葉遣い、見やすい感じもソフトになっています。商工会でもこのように改善しイメージチェンジしていく必要があると思いますね。

その上で商工会として何を訴えたいのか、何を伝えたいのかといった独自性を出していけばよいと思います。

会長 商工会は全般的に硬すぎると感じますね。平易で分かりやすいことが商工会に対して親近感が生まれると思いますよ。職員にもその辺は徹底していきたい

商工会法の制定以来、四十数年以上経ち、いま商工会の役割・あり方が問われています。国の構造改革に端を発し、地方分権化、補助金行政のあり方が見直され、商工会においても補助金依存体质からの脱却、自立した組織として抜本的な見直しを迫られており、上部団体「都商工会連合会」において策定された商工会等改革実行プランに基づき各商工会がこの改革に取組んでいます。

「真に求められる商工会」としてその役割を果たすために商工会はどのような方向を目指すべきなのか商工会長、玄報委員会委員による座談会を開催しました。



役割を担う場が極端に少なくなっているような気がします。若さとネットワークを有するこの年代の方たちの参加機会を作っていくべきではないかと思いませんが。

ています。こうした青年団体への支援には積極的に取組むべきだと思いますが。

また、こうした青年団体を卒業した40才代か

とつて非常によいことだと思います。

店の人たちの参加が薄
また、退会の割合も多
という実態からこれら
会員の方々の参加意識を
高めていくという思いで
あります。廃業・倒産が
増加傾向にある中、商工会に

にくいと思います。業種を超えた活動として情報交換の場の設定や福利厚生関係事業、そして全体的に共通する経営講演会などが考えられます。また支部活動を活性化するた

活性化にならないと思います。

会長 同感ですね。商工会でも偏った年代の方々だけで運営すれば全体のニーズは反映されませんし、市民や商工業者に支持されない思いますよ。私も会長職に携わってそのことを痛感していまして、そこでバランスよく若手の方々にも商工会理事として何名か参加してもらうようにした訳です。

また、市内の青年団体が連携していくばもつとまちづくりに寄与できることがでてくると思いますので、商工会としても応援できるところは応援

していきたいと思います。

大統 この座談会を通じて商工会の事業活動や改革の方向性の一端を理解することが出来ました。商工会を取巻く環境の厳しさもありますが、商工会が商工業者や市民の方々から「真に求められる商工会」となるよう私たちは応援していきたいと思います。

今後の商工会活動に期待をいたし、座談会を終了させていただきます。本日はお忙しいところありがとうございました。

には商工会の存在を身近に感じてもらいたい商工会を利用してもらわればということです。
また、業種別部会として今までの2部会制から建設業部会を立ち上げ、3部会制にすることがあります。現在、工業部会の中に建設関連業も包含されていますが、この建設関係の業種だけでも約400社以上あり前々から独立した部会設置が要望されていました。
業種にとらわれない支部活動や業種毎の部会活動の組み合わせにより、会員さんの利用機会を増やしていくれば商工会活動の活性化に繋がると思っています。
その上で商工会として何を訴えたいのか、何を伝えたいのかといった独自性を出していけばよいと思います。
会長